

議会

会



私の街こまつ



2023.11

Contents

市議会HP
QRコード



9月定例会	2
市政Q&A	4
予算決算常任委員会総括質疑	12
常任委員会 審査報告	15
特別委員会 調査報告	18
議決結果	19

令和4年度決算を認定



作品名「うらはら」

小松市立高等学校普通科芸術コース美術専攻 3年生 細川 祐希 さん

9月 定例会

会期（9月4日～9月28日）
9月4日 開会

市長提出議案
 予算案 2件
 条例案 3件
 その他議案 5件

11日 一般質問（9人）
 12日 一般質問（7人）

13日 各常任委員会（分科会）
 14日 各特別委員会
 15日 各特別委員会
 21日 予算決算常任委員会
 各常任委員会（分科会）
 総括質疑

26日 予算決算常任委員会
 28日 閉会

市長提出追加議案 3件
 議員提出議案 2件

※議案等の採決結果（P19参照）

条例案等をチェック

市長から提案のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。（P15～17参照）

議員提出議案をチェック

（賛否はP19参照）

議案第4号 市長において専決処分することができる事項の追加指定について

議案第5号 表議員に小松市監査委員並びに小松市議会倫理推進委員長及び公共施設マネジメント検討特別委員長の辞任を求める決議

人事案件

教育委員会委員

あまくら かずか
浅蔵 一華 氏（八幡）

監査委員

にしむら かずのぶ
西村 一伸 氏（矢崎町）

公平委員会委員

もりもと えいし
森本 栄史 氏（島町）

の任命・選任に同意しました。

本会議の討論

橋本議員から市長提出議案第65号及び請願第2号に対し、反対討論がありました。

決算をチェック

令和4年度決算については、予算決算常任委員会で審査されました。（P12～16参照）

令和4年度決算（歳出）

一般会計	540億9,358万円	企業会計	
特別会計		水道事業	22億5,080万円
国民健康保険事業	96億4,797万円	下水道事業	39億342万円
介護保険事業	96億9,922万円	小松市民病院事業	92億7,328万円
公債管理	109億1,123万円		
産業団地事業	20億9,915万円		
後期高齢者医療	17億3,454万円		



小松市イメージキャラクター
カブッキー

予算案をチェック

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P12～16参照)
主な提案内容を紹介します。

令和5年度補正予算

一般会計 補正額	6億382万円
特別会計 補正額	1億4,188万円
合計 補正額	7億4,570万円

一般会計の累計

492億7,074万円

全会計の累計

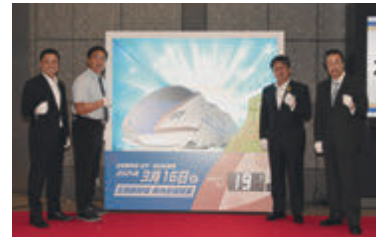
1,077億1,562万円

小松駅・空港間 自動運転バス運行費



【補正額】1億9,030万円
【内容】小松駅・空港間の自動運転バス2台、遠隔監視機器導入等費用です。国の補助金(1.8億円)を活用し、自動運転レベル4に向け取組を加速・強化します。

新幹線小松駅開業 プロモーション費



【補正額】100万円
【内容】2024年3月16日の北陸新幹線小松駅開業に向けて、県や関係市町と連携し、「新幹線車両歓迎セレモニー」等の機運を高めるイベントの開催やカウントダウンボードの設置を行います。

スタートアップ企業等 創業支援費



【補正額】300万円
【内容】起業家育成を支援するため「Komatsuスタートアップラボ」を実施します。起業のハードルを下げ、起業家輩出等を通じて地域経済活力の向上を図ります。

小松市武道館改修費



【補正額】1億5,880万円
【内容】市の武道及び屋内スポーツの拠点であり避難所に指定されている武道館の改修費です。利便性向上と避難所機能の強化のため、空調設備を設置します。

スキー場災害復旧費



【補正額】1,700万円
【内容】7月12日～13日の大雨により、スキー場内の法面3か所が崩壊したため、法面部分の測量設計と復旧工事を行います。

放課後児童クラブ運営費



【補正額】2,800万円
【内容】放課後児童健全育成事業の基準額の増額による費用です。

中消防署西出張所整備費



【補正額】5,970万円
【内容】昭和50年に建築した西部地区(安宅、牧、板津)を管轄する西出張所の移転建設(用地取得等含む)費用です。





深田 博智 ふかたひろとも 議員

一括質問

小松市大倉岳高原スポーツ・レクリエーション施設設置条例の一部を改正する条例と旧金野小学校跡地利用について



動画でチェック

◆大倉岳高原スキー場の料金改定について

Q 料金改定に至った経緯について。

A 施設の老朽化が進み、今後継続的に多額の改修費用が見込まれることから様々な収支改善の取組をしてきたが、抜本的な料金改定は行わずにこれまで運営してきたこれ以上の経費削減には限界があることから、料金の見直しを行うものである。

Q 冬季期間以外の利用促進に向けた取組について。

A 近年、トレイルランはもとより、キャンプやテントサウナなど山岳資源を生かした様々なアクティビティーが全国的に人気となっている。自然環境や利用者の安全対策を最優先に考慮しながら、今後は民間事業者の方々にたくさん使っていただけるよう、いろいろな方と御相談しながら進めていきたいと思っている。

◆旧金野小学校跡地利用について

Q 旧金野小学校跡地の利活用の方性について。

A 本施設の利活用については、一時期、脱炭素関連の研究開発拠点として関心を寄せていた事業者もありましたが、事業化には至らず、一旦ゼロベースに戻し、改めて利活用に向けた調査や検討を進めているところである。本市としての施設活用の基本的な考え方としては、現在の利用状況や地元からの要望を十分に踏まえながら、民間の発想、ノウハウ、資金等を生かした持続可能な事業活動を行うことで、雇用や産業など地域活性化に資することが重要な視点だと捉えている。今後、民間提案型プロポーザルを実施し、広く事業提案を募集することを目指して、現在、資産評価や用地の測量などを進めている状況である。



梅田 利和 (うめだとしかず) 議員

一括質問

世界に時めく 日本海側の拠点都市こまつ



動画でチェック

◆北陸新幹線小松駅開業へ

Q 北陸新幹線小松駅開業前と開業後の取組について。

A 開業前の方針は、都市基盤整備と交流拠点機能の立地と集積で、公立小松大学の開学、團十郎芸術劇場つらら、Komatsu 九 (ナイン) の整備等実施してきた。開業後は、航空機の旅客機能拡充に伴う交流拡大のため、空港周辺エリアの交流拠点機能の立地と集積が重要政策方針と考えている。

Q 新幹線駅と空港の二大都市機能を最大限活かしたまちづくりにについて。

A 新幹線駅、空港エリアの近接性を生かし、二大重点エリアの一体性を高めるため、自動運転車両で接続する等、レール&フライトのイメージを高めていく。

◆国際交流について

Q 台湾とのさらなる交流に向けて。

A 7月の台湾訪問で、彰化市等を訪問し、魅力発信を行ってきた。また、南部中で台北市小学校

吹奏楽団を受け入れており、青少年の国際交流の機会を創出している。中学校修学旅行先に台湾を検討しており、実施に向け取り組んでいく。今後とも代表訪問団等受入れを継続し、顔の見える友好親善を図る。

Q 小松・ソウル便運航のインバウンド需要拡大への対策について。

A 韓国内ニーズを捉え、こまつ観光物産ネットワークで、温泉とゴルフとのヘルスツーリズムの商品を造成し、PRをしている。県や民間と連携し、インバウンド需要の取り込みを図る。

Q 日本海側の地域連携を模索するクラフトバレー構想について。

A 北陸新幹線沿線でものづくりのシリコンバレーをなぞり、クラフトバレーと称している。広域連携で話題づくりとブランディングを図る。シリコンバレー研修をしている公立小松大学との連携が重要であり、大学の価値向上と学生の成長となる構想を期待しており、関係市と連携し、検討していく。